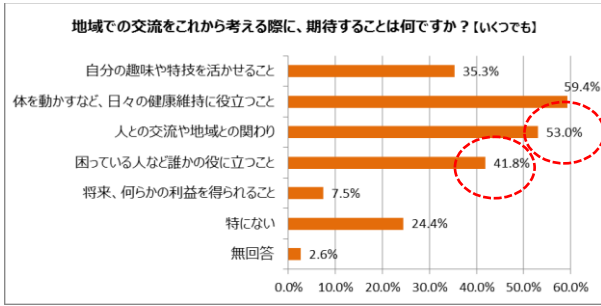


地域課題	超高齢化社会を見据えたコミュニティの持続性確保	仙台市
アイデア名	地域の支え合いと子供や若者との交流による「コミュニティ・まちチャレンジ」	
チーム名	IZUMI・鶴が丘「コミュニティ合唱団」	
メンバー	鶴が丘一丁目町内会・仙台白百合女子大学・東北学院大学の市民・学生 計16名	

□提案要旨／超高齢化社会は地域全体の課題。高齢者も子供・若者世代と幅広く交流し共に支え合う環境が必要。若返りも視野に地域で普段から交流できるコラボ活動を提案し、元気あるコミュニティの循環をめざす。

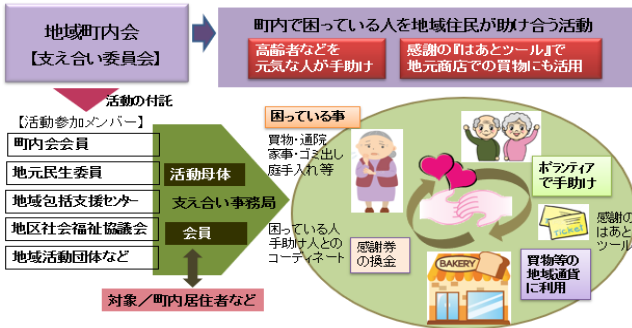


「地域の支え合い活動」は、地域の問題解決に期待できると思いますか？

	身近な生活支援については期待できる(例: 福祉や子育て等)	日常生活における幅広い課題については期待したい(例: 買い物や通院、交通等)	あまり期待はできない	わからない	無回答
全体	1,782 13.5%	44.0%	19.3%	19.5%	3.6%
40代以下	225 27.1%	30.2%	14.7%	24.9%	3.1%
50代	178 13.5%	48.9%	12.9%	24.2%	0.6%
60代	654 11.6%	46.0%	21.4%	17.9%	3.1%
70代	569 10.9%	47.5%	20.4%	17.8%	3.5%
80代以上	145 12.4%	39.3%	20.0%	18.6%	9.7%

※表例からは年代不明11名の回答を除いている  
 全体より+5p以上 10p未満  
 全体より+10p以上  
 全体より-5p以上 10p未満  
 全体より-10p以上

【提案1】高齢者の生活支援～生活の困り事を元気な高齢者が手助け



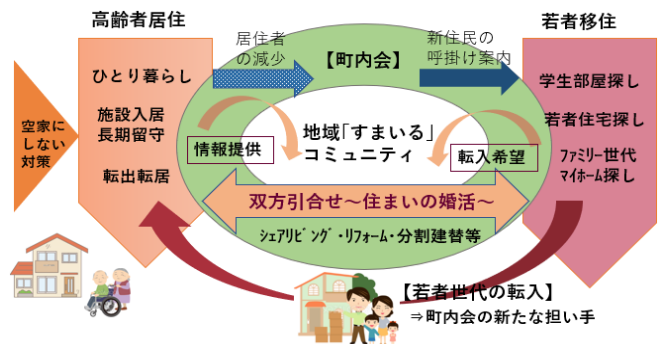
【提案2】子供達への学習支援～高齢者の活躍と子育て家庭への応援



【提案3】学び・遊び・食の多世代交流～交流。食育と孤食防止



【提案4】脱空家～すまいる環境サポート。若者世代転入



□実現の流れ／町内会に学生・多セクターも参加するオープン・コミュニティを形成し、まちづくりの輪を拡大する

